

## Curtis Patterson / カーティス・パターソン (箏)

箏アンサンブル・グループ「箏衛門」メンバー、 沢井箏曲院教師、沢井忠夫合奏団団員、横浜インターナショナルスクール邦楽プログラム講師。

米国シカゴ出身。アイオワ州のコーネル大学在学中に箏に出会い、1986 年来日。生田流箏曲の基本である地唄、段物等を学び日本の伝統音楽への理解を深める。1990 年、沢井箏曲院に入門、沢井忠夫、一恵両師に師事。以来古典曲のみならず数多くの現代曲も手がけ、益々邦楽の可能性を実感する。1995 年外国人として初めて NHK 邦楽技能者育成会を卒業。ソロアルバム『音の輪』を 2002 年にリリース。松坂慶子企画朗読劇「天守物語」では箏・十七弦を演奏。小椋佳や和太鼓ユニット「AUN」の全国ツアーに参加。2004 年マレーシアにてレインフォレスト・ワールドミュージック・フェスティバルに出演。2006 年からブルース・ヒューバナーと 箏/尺八デュオライブ活動を始める。様々なジャンルのアーティストとの活動、邦楽教育・指導により幅広い箏の世界を目指している。  
(<http://www.curtkoto.com/>)



## Bruce Huebner / ブルース・ヒューバナー (尺八)

ジャズ・ワールド・ミュージックグループ「Candela」メンバー、尺八&ギターユニット「ZUI」メンバー、琴古流尺八師範、福島県立医科大学音楽講師。

米国ロサンジェルス出身。1983 年カルフォルニア州立大学ノースリッジ校音楽部卒業後来日、琴古流尺八を始める。一旦帰国し東洋学修士を取得後、1989 年文部省国費留学生として再び来日、研究生を経て外国人として初めて東京芸術大学邦楽科修士課程に入学する。故人間国宝山口五郎に師事し、1994 年首席にて修士課程修了。2000 年まで福島女子短期大学で教鞭をとる。1998 年英語版『ビデオ尺八指南』全三巻作成。2000 年ピアニスト・作曲家のジョナサン・カツツと共にジャズワールドミュージックのグループ「Candela」を設立、尺八の可能性の開拓を始める。2002 年 CD『Mogami』をリリース、日本、ヨーロッパ、北米ツアーを行う。2006 年より実力派箏奏者カーティス・パターソンとデュオを組み、古典からオリジナル曲まで感動的なステージを展開する。教育にも熱心で、現在福島県立医科大学等で音楽講師を勤める。

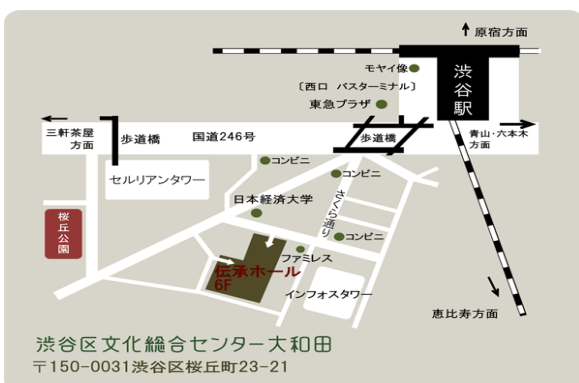
(<http://brucehuebner.com/>)



## Curt and Bruce / カート & ブルースの活動

2006 年のユニット結成以来、〈桜前線ツアー〉〈紅葉狩りツアー〉で、九州から東北まで日本を縦断、100 回近い公演を行なう。福島県川内村在住の陶芸家友人宅を音楽作りのベースのひとつとしてきた二人は、東日本大震災以来、恩返しの気持を込め、音楽を通じて被災地の支援活動を続けてきた。2008 年にはスーザン・オズボーンと共演、2010 年にはカナダ・バンクーバーにて VICO オーケストラと共演する等、古典から現代曲、ジャズ、即興まで独自の視点で、箏と尺八の可能性を世界へと発信している。日本の山河に思いを馳せながらも、ありふれた日常の風景も反映させ、双方を自由に行き来する二人の音楽は、和楽器にとって新たな音楽の展開を示唆している。Duo としては現在までに CD『Going Home』『風紋/Tracing』をリリース。

「ブルースとカートが紡ぎ出す音楽は、伝統に深く根ざしながらも、その型を超越する。全ての偉大な音楽がそうであるように、音と静寂の出会いとなって、聴く者を美しく満ち足りた瞬間へと誘う。」 (スーザン・オズボーン評)



今回のコンサートの収益金は、ネフェルギャラリーを通じてエジプト ミニヤ聖心会の Samalout 火傷治療施設および Beniebet/Abukorkas 教育施設に寄付させていただきます。

ネフェルギャラリー *Nefert Gallery* (代表 金田理恵)

エジプトおよび近隣諸国の職人、画家、アーティストを紹介するギャラリー。伝統工芸品の職人を支援するとともに、収益の一部をエジプトミニヤの Samalout 聖心会火傷治療施設、教育施設に寄付する活動を続けている。  
(<http://www.nefergallery.com/jp>)